

2020年7月20日

2020年度に留学を予定されている学生のみなさんへ

まず、先日の豪雨災害でご実家やご親戚が被害に遭われた学生さんもおられるかも知れません。心からお見舞い申し上げます。今も大変な状況にあつて、心身ともに疲弊しておられるのではないかと思います。とても心を痛めています。

今年に入ってから、特に3月以降、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴って日本のみならず世界の全ての国と地域が甚大な影響を受けています。自然災害と同様、目に見えないウイルスと闘うのは人間にとって非常にやっかいなことだということを、改めて実感させられました。4月以降は通常の対面授業ができない状況が続く、学生さんたちもいつも以上に負担を強いられているのではないかと心配しています。

そして、せっかく大学間、あるいは部局間の交流協定によって派遣留学が決まっていた方、また、私費での休学留学を決めていた方にとって、本当に辛く苦しい時が続いていると思います。8月～9月に留学を予定していた方は、本来なら今頃は学期末の試験対策もしつつ、渡航の準備に勤しんでおられたのではないかとと思うと、何もしてあげることができないこの状況に、こちらとしても心苦しくやるせない思いでいっぱいです。留学途中で帰国せざるを得なかった方たちも、きっとどこに怒りや無念をぶつけていいかわからず、悩んでおられることと思います。

しかし、これからの留学を考えていた方も、中断した留学を再開したいと思っている方も、心を落ち着けてまずは大学の方針について理解して下さい。

現在、大阪大学全体としての留学実施・海外渡航に関する基本方針は、

1. 「大阪大学・国際交流等に伴う危機管理対応マニュアル」に基づき、外務省が公表している各国・地域の海外安全情報「危険情報」及び「感染症危険情報」において、(感染症)危険情報レベル「2以上」の場合は、渡航を許可しない。
2. この判断は、渡航の種類(交換留学、海外研修、私費留学、海外旅行等)に寄らず適用される。

となっています。1については、残念ながらこれは全世界の国と地域が対象となっていますので、現段階ではどこにも渡航することがかないません。それがいつどのように変更されるのかも、全く読めない状況です。2にある通り、それが国費留学であろうが私費留学であろうが、はたまた休学しての放浪であろうが、関係ありません。このことは学生さん全員に守っていただかねばならないことです。

しかし、だからと言って2020年度のそういった留学や海外渡航を大学があらかじめ「禁止」しているわけではありません。いつになるのかは予測できませんが、渡航自粛のレベルが緩和されれば、そして、留学等にまつわる様々な条件をクリアできれば、学生さんたちが海外に向けて飛び立つことをむしろ諸手を挙げて応援したいのです。

海外の大学によっては、オンラインの授業を受講すれば単位を認めるという制度を整備するところもあるようですし、また、留学開始時期をずらす予定があるところもあるようです。こういった情報は入り次第学生のみなさんに必ずお伝えします。また、留学再開時期がいつになるのかにもよりますが、本学での授業履修期間と留学開始期もしくは終了期が微妙に重なってしまい、受講している授業の単位がどうなるかについて不安を抱えることにならないように、学部として最大限の配慮をする予定です。なお、10月以降に休学申請する場合の注意点等については、別途、教務係からご案内します。

もう留学は諦めた方がいいのか、それともギリギリまで粘って再開を待つのか、最終的には学生さん自身に決断してもらうしかありません。私たち教員のみならず、事務職員のみなさんも一同に、学生さんたちが晴れて留学に向かえる時までできる限りのサポートをしていく所存です。どうしてこんなタイミングでコロナが…と後ろ向きに考えてしまいがちだと思いますが、日本にいる間にできることを探し、自分のこれからの「未来計画」について考え、自分自身にとって最善の道を進めるように前を向いて下さい。それを心から願っています。

大阪大学外国語学部長

竹村景子